

小学生の成長曲線

【学校医またはかかりつけ医診療のポイント】

簡易編

出雲市学校医会（令和5年度版）

「学校医またはかかりつけ医」には、

⑥・⑦（肥満傾向）、⑧・⑨（やせ傾向）の児童が受診する予定です。

* それ以外で保護者からご相談がありました際は、詳細編を参考にしてください。

* いずれのケースにおいても、ご家族・本人の心配や不安が強い場合は、専門医への受診をお勧めください。

① 身長がかなり高い

「専門医へ受診」または「経過観察」

② 過去の身長と比較して伸びかなり大きい

「専門医へ受診」または「経過観察」

③ 身長が低い および ④ 身長の伸びるペースが落ちている

「専門医へ受診」または「経過観察」

⑤ 身長がかなり低い

「専門医へ受診」または「経過観察」

⑥ 肥満：肥満度+30 ～+50% および ⑦ 進行性の肥満：肥満度+30 ～+50%

《通知コメント》肥満症

《通知コメント》進行性肥満

《診察ポイント》

家族歴、本人の食生活・運動・睡眠など生活状況を聞き取り、生活改善の指導を行ってください。

半年以内に再診を促し、改善がみられない場合は、(空腹時)血糖・脂質・肝機能の検査をお願いします。

⑧ かなりのやせ：肥満度-20%～-30% および ⑨ 進行性のやせ：肥満度-20%～-30%

《通知コメント》やせ

《通知コメント》進行性やせ

《共通診察ポイント》

家族歴、食生活・運動・睡眠など生活状況を聞き取り、必要があれば貧血等のチェックをお願いします